



High Quality | Rebuilt Automotive Parts



使用済み自動車部品の 適正なりビルトプロセスの確立と 普及を図るためのJSA規格の開発

2021年10月15日
株式会社アーネスト

1, 会社概要

- ・ 商 号 株式会社アーネスト (Honest Co., Ltd.)
- ・ 本社所在地 〒342-0016 埼玉県吉川市会野谷1-173-1
TEL : 048-984-3818 FAX : 048-984-3819
- ・ 代 表 者 代表取締役社長 大川 恵司
- ・ 設 立 1993年6月
- ・ 資 本 金 1億5千万円 (2021年5月31日現在)
- ・ 事 業 内 容 自動車用リビルト部品の製造・販売・輸出、自動車中古部品の輸出
- ・ 従 業 員 数 149名 (2021年5月31日現在)

2,事業拠点



HONEST VIETNAM

/HANOI VIETNAM



West Japan Sales Office
/ HYOGO

西日本物流センター

北海道物流センター



九州物流センター

HEAD OFFICE
East Japan Sales Office
/ SAITAMA

東日本物流センター

3, 事業概要

分類	主要リビルト・ファブレス品目	輸出品目
 <p>High Quality Rebuilt Automotive Parts</p> <p>高品質 リビルト部品 32品目 製造・販売</p>	    <p>オルタネーター ドライブシャフト ハイブリッド車駆動用バッテリー スターターモーター</p>     <p>ターボチャージャー パワステポンプ ACコンプレッサー 電子制御スロットル</p>	 <p>High Quality Rebuilt Automotive Parts</p>  <p>Eco-Friendly Next Generation Automotive Parts</p>  <p>リビルト部品 ・優良部品 及びコアの 輸出販売</p>
 <p>Eco-Friendly Next Generation Automotive Parts</p> <p>次世代環境対応 優良部品 15品目 製造・販売</p>	    <p>エンジン ECU ブロアモーター パワーウィンドウスイッチ カム角センサー</p>     <p>O2センサー ダイレクトIGNコイル ガススプリング 排気温センサー</p>	

4, 自動車用リビルト部品とは

使用済み自動車から取り外されたコアを、一度構成部品に分解した後、点検し、摩耗・劣化した構成部品を、修理した構成部品又は未使用の構成部品と交換して再度組み立てて、性能確認をした部品。

使用済み車

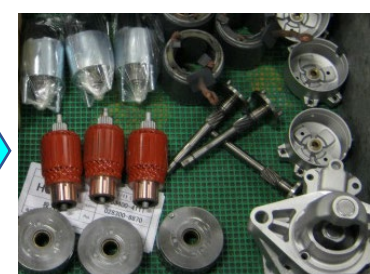
①コア管理

②分解

③洗浄

④選別

⑤補修



⑪出荷

⑩梱包

⑨完成検査

⑧組立

⑦塗装

⑥部品検査



アーネストの11ステップ

5, 自動車用リビルト部品の活用効果

CO₂を削減し環境にやさしいと評判の自動車リサイクル部品ですが、しっかりと「保証」も付いているんです。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会は、加盟会員の「品質・保証基準」を統一しました。
 <主なリサイクル部品の保証内容とCO₂削減量の表示>

<p>エンジン 保証期間 / 6ヶ月 (ただし、5,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 416.9kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 369.5kg</p>	<p>ミッション 保証期間 / 6ヶ月 (ただし、5,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 340.4kg CO₂削減量 (AT) / リビルト部品 / 171.4kg</p>	<p>噴射ポンプ 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 17.0kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 12.7kg</p>
<p>ターボチャージャー 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 19.6kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 18.3kg</p>	<p>セルモーター 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 9.3kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 9.4kg</p>	<p>スロットルボディ 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 5.0kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 3.5kg</p>
<p>コンプレッサー 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 27.6kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 26.9kg</p>	<p>パワステポンプ 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 10.7kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 10.4kg</p>	<p>オルタネーター 保証期間 / 3ヶ月 (ただし、3,000kmを超えた場合を除く) リユース部品 / 16.3kg CO₂削減量 / リビルト部品 / 15.8kg</p>

リビルト部品の活用効果

- ① 廃棄物の減少
- ② CO₂の削減
- ③ 経済的 (安価で高い品質)

オルタネーター
保証期間 / 3ヶ月
(ただし、3,000kmを超えた場合を除く)

CO ₂ 削減量	リユース部品 / 16.3kg リビルト部品 / 15.8kg
---------------------	------------------------------------

6, リサイクル部品（＝リユース部品）の活用

自動車の所有者も行政機関も、法律で使用済み自動車部品の活用を奨励している。

自動車リサイクル法 使用済自動車の再資源化等に関する法律

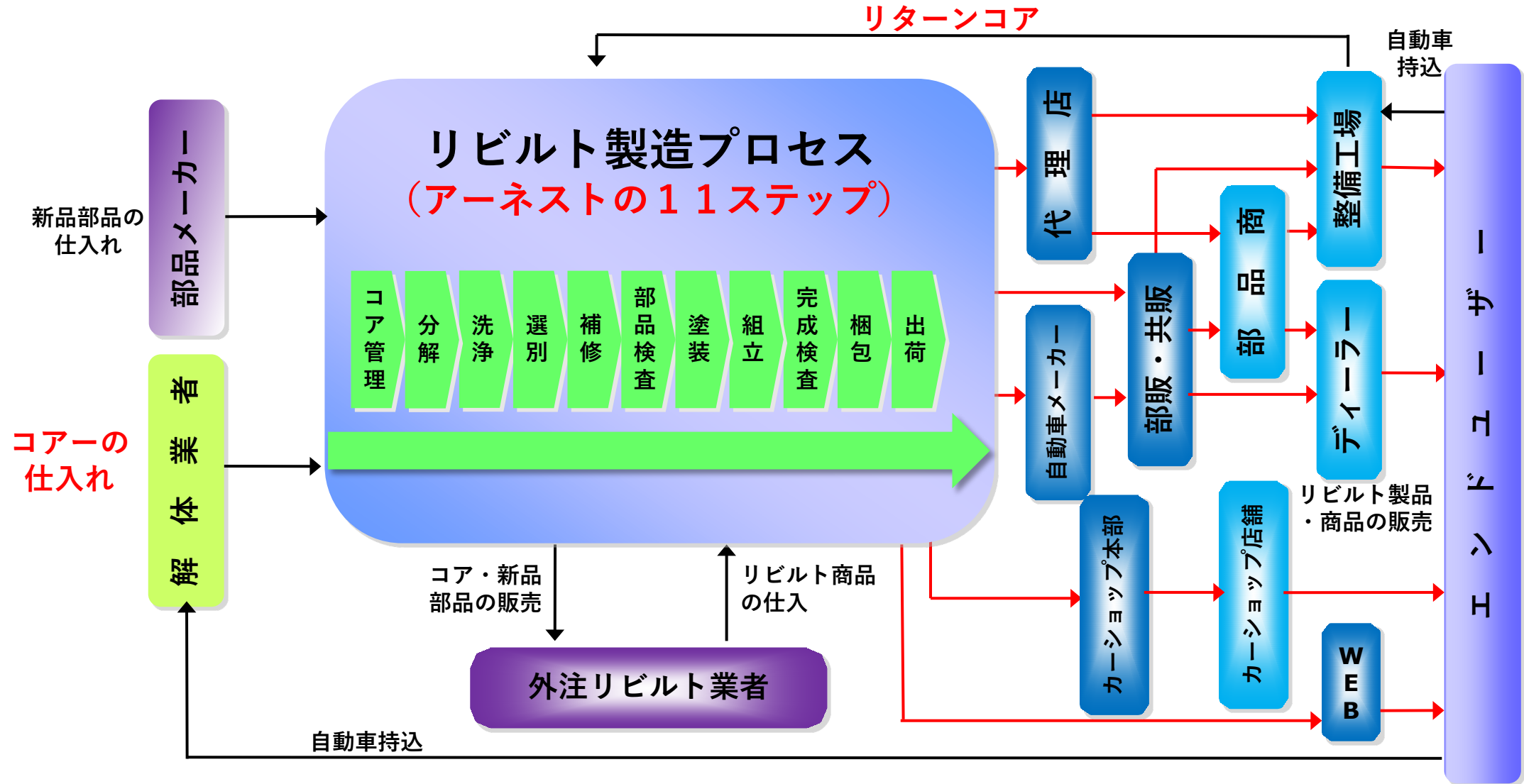
第五条 自動車の所有者は、自動車をなるべく長期間使用することにより、自動車が使用済自動車となることを抑制するよう努めるとともに、自動車の購入に当たってその再資源化等の実施に配慮して製造された自動車を選択すること、**自動車の修理に当たって使用済自動車の再資源化により得られた物又はこれを使用した物を使用すること等により、使用済自動車の再資源化等を促進するよう努めなければならない。**

グリーン購入法 国等による環境物品等の調達の推進に関する基本方針

22-5 自動車整備

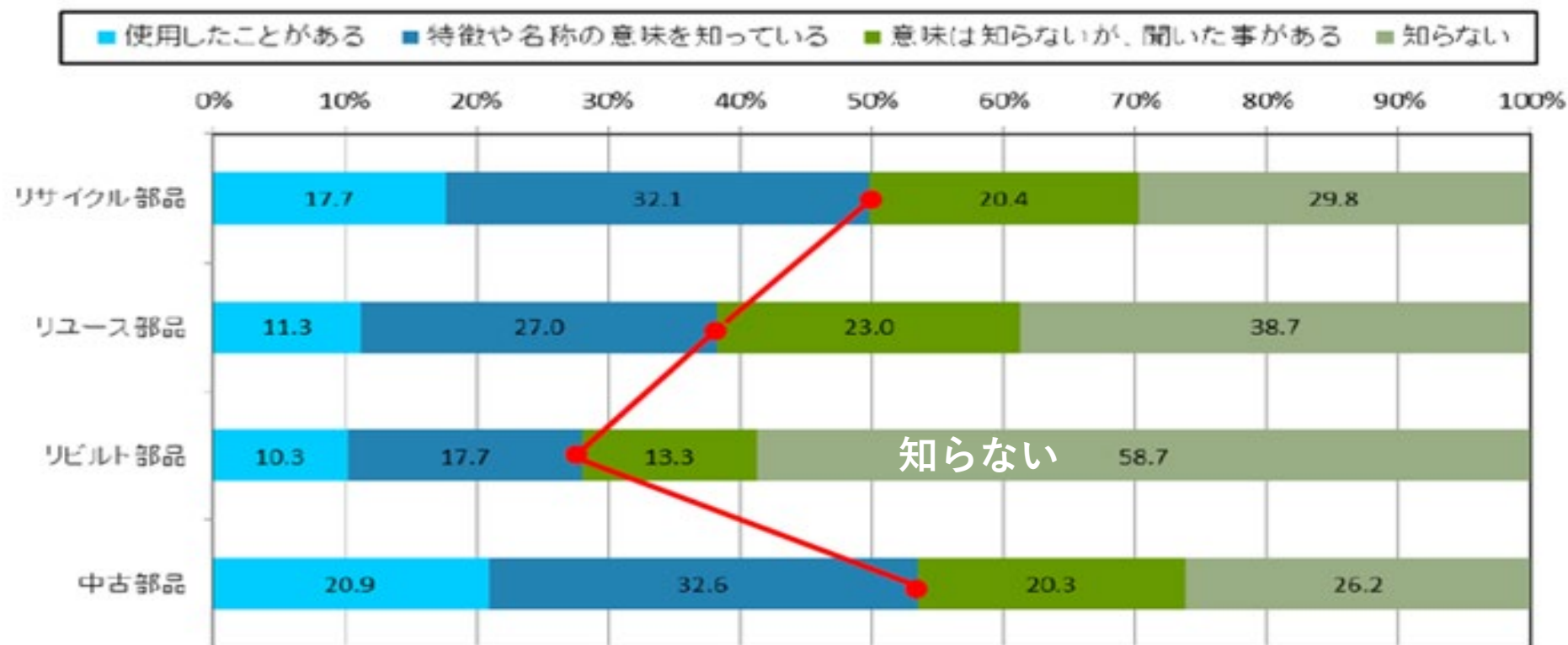
①**自動車リサイクル部品**（リユース部品（使用済自動車から取外され、品質確認及び清掃等を行い商品化された自動車部品をいう。）**又はリビルド部品**（使用済自動車から取り外され、磨耗又は劣化した構成部品を交換、再組み立て、品質確認及び清掃等を行い商品化された自動車部品をいう。）をいう。）**が使用されていること。**

7, リビルト事業のしくみ



8, リビルト部品の生産及び販売上の課題・問題点

① リビルト部品の認知度が低い



出典：2016年 自動車ユーザーへのWebアンケート調査から（日本ELVリサイクル機構）

8-1, リビルト部品の生産及び販売上の課題・問題点

② リビルト部品の基準が無い

👉 リビルト部品の名称そのものが曖昧

- ・ リユース品で一括りでリペア品との差も曖昧
- ・ 中古部品が洗浄・塗装でリビルト部品として販売

👉 生産は各社独自で培った永年のノウハウに基づいている

- ・ 保証期間は2年4万Km ~ ノークレーム、ノーリターン

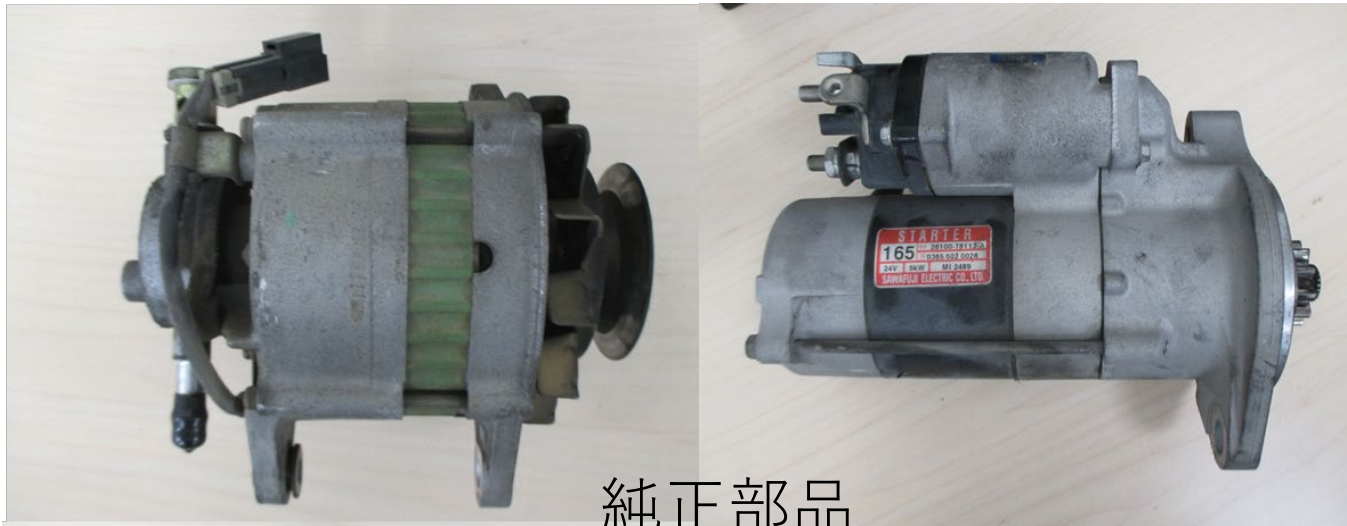
👉 3K（きつい、汚い、危険）職場が存在している

- ・ 床面の油、コアや部品の床置き、粉塵の飛散

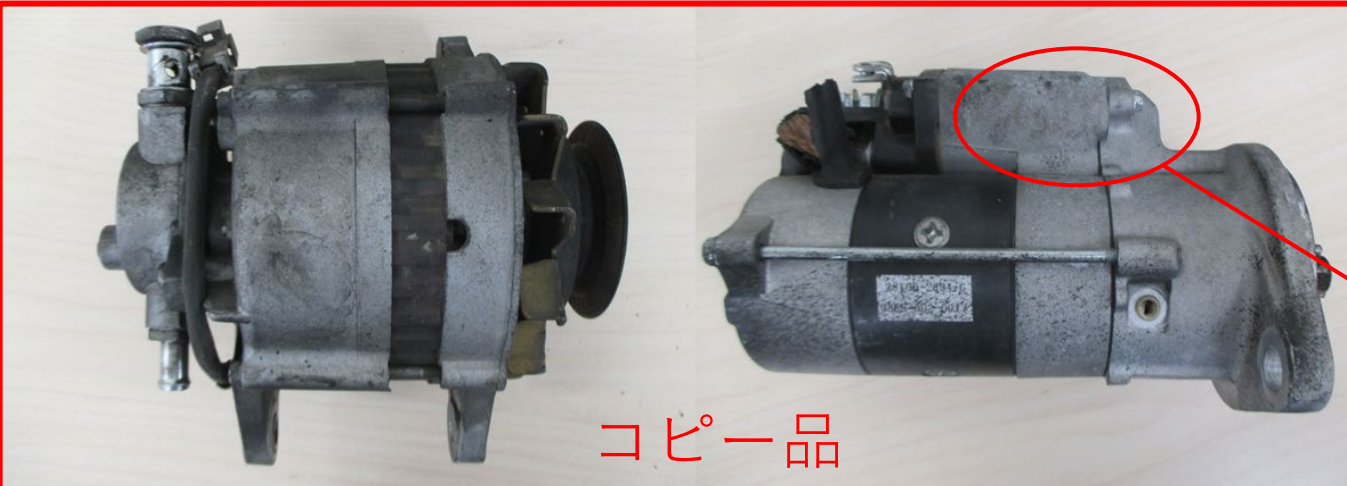
👉 海外コピー品がリビルト品として流通

- ・ リターンコアー不要

8-2, リビルト部品の生産及び販売上の課題・問題点



純正部品



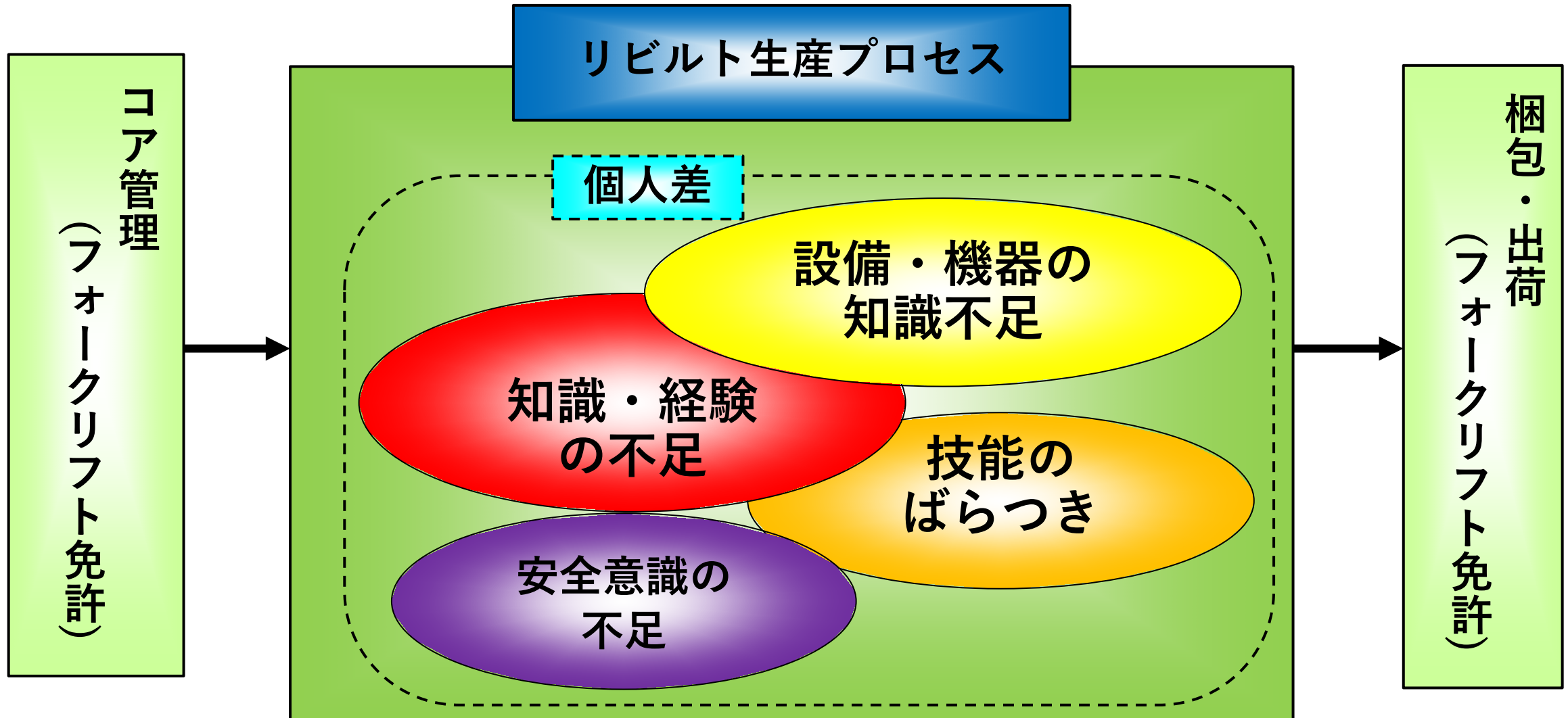
コピー品

コピー品（イミテーション品）の特徴

- ①安価(純正の25%以下)
- ②ノークレーム、ノーリターン
- ③音が大きい・・・回転中心の芯ずれ
- ④破損・故障が早い
- ⑤作りが雑
 - ・旋削面の粗度が大きい
 - ・構成部品が故障し易い



8-3, リビルト部品の生産及び販売上の課題・問題点



9, リビルト部品の生産及び販売上の課題・問題点への対応

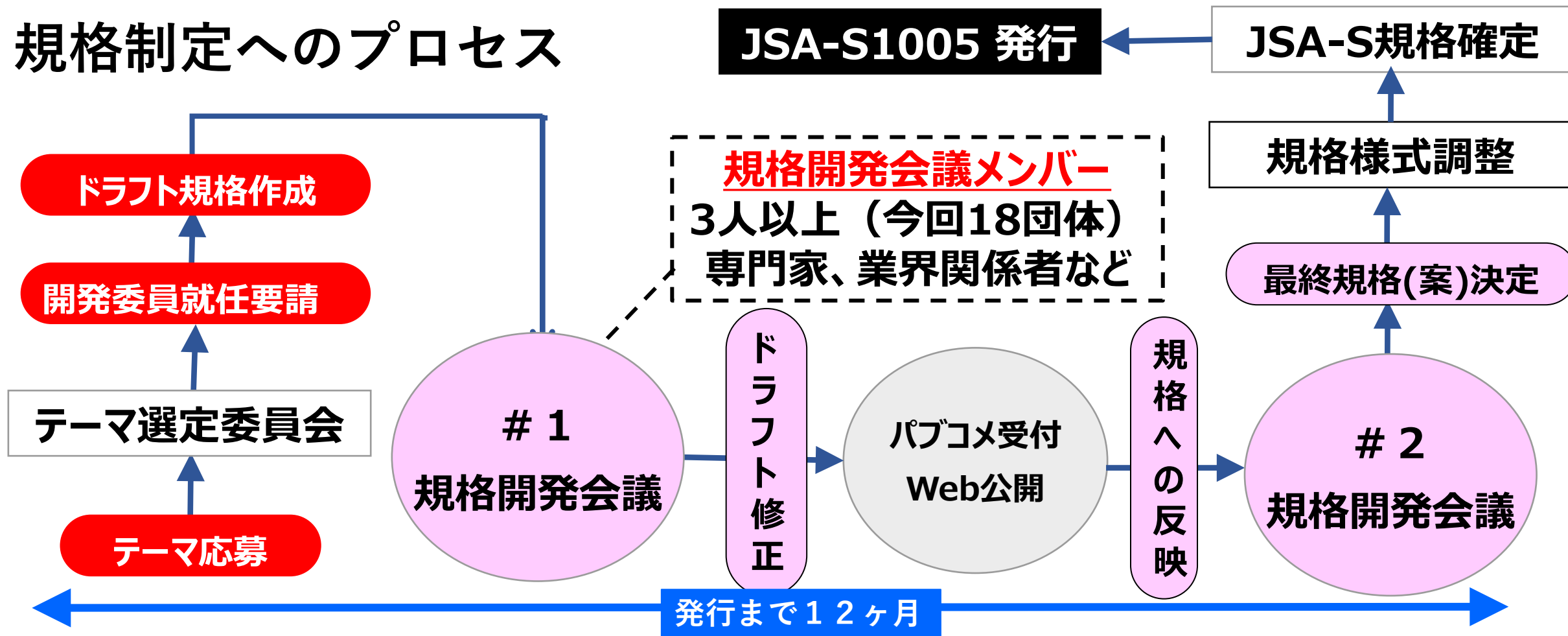
部品の価値を限界まで使い切る事を目指した良質なりビルト品のシェアを拡大していく事こそが環境貢献に大きく繋がる。また、品質と価格で喜んで頂き、暮らしにも貢献する。

【規格による標準化でリビルト業界の発展に寄与】

- 1、規格に基づくリビルトの品質を理解して頂き、幅広く**認知度**を高めたい
- 2、お客様に保証（RAP:2年4万Km）を明示できる**業界品質**にしたい
- 3、リビルト事業者が地域から**環境悪化**を指摘されないようにしたい
- 4、災害の無い、安定したものづくりの実現で**安心安全な職場環境**を目指したい
- 5、製造工程での**工程内不良等のロス**の低減で環境負荷を少なくしたい
- 6、不良による代替品の**輸送ロス、再製造ロス**の低減につなげたい
- 7、グローバルな拡大に対して輸出リビルト品でもMade in japanの品質を守りたい

9-2, 生産及び販売上の課題・問題点への対応

規格制定へのプロセス



出典：JSA-S制度の業務の流れ/一般財団法人日本規格協会 をフロー化した

9-3, 生産及び販売上の課題・問題点への対応

2020年6月 日本規格協会から規格発行

JSA-S1005:2020 「自動車用リビルト部品 - リビルトプロセスに関する要求事項 -」

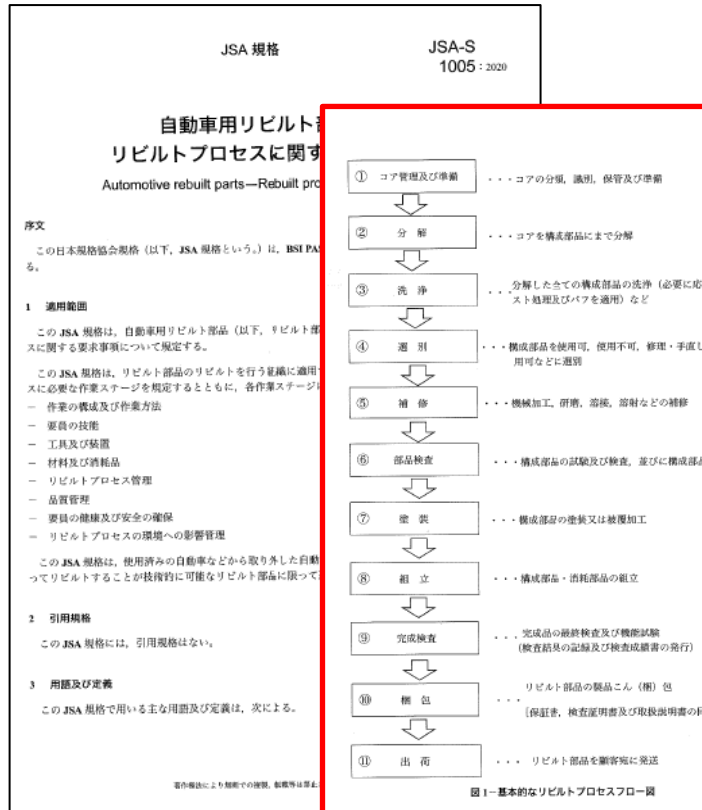
JSA規格

JSA-S1005:2020

自動車用リビルト部品

—リビルトプロセスに関する要求事項—

2020年6月30日 発行
ICS 43.040.01



JSA-S 1005 : 2020

自動車用リビルト部品—リビルトプロセスに関する要求事項

解説

この解説は、規格に規定・記載した事項を説明するもので、規格の一部ではない。

1 制定の趣旨

このJSA規格は、株式会社アーネストからの提案によって実現した。JSA株式会社アーネストは、埼玉県川口市に本社、本社工場を置き、ベトナムを4分割する販売拠点網を販売大手の自動車用部品のリビルト用リビルト部品の納入先は、自動車メーカー、認定部品販売会社、中古部品店などであり、自動車用リビルト部品は納入先を通じて国内全域の自動車整備事業者へ供給されている。

自動車用リビルト部品は、一般に、最初から全てを作る新品部品に比べて、外した部品(リターンコア)を材料として、分解ができる構成部品にまで分解・修理し、磨耗・劣化があるものは修理するなどして検査に合格した構成部品を交換したうえで、再度組み立て、性能を検査したうえで完成品として再び部品である。自動車用リビルト部品の材料源は「コア」と呼ばれるが、コア大限に引き起こることがリビルト事業者の役割である。

自動車用リビルト部品は、一般に、最初から全てを作る新品部品に比べて、外した部品(リターンコア)を材料として、分解ができる構成部品にまで分解・修理し、磨耗・劣化があるものは修理するなどして検査に合格した構成部品を交換したうえで、再度組み立て、性能を検査したうえで完成品として再び部品である。自動車用リビルト部品の材料源は「コア」と呼ばれるが、コア大限に引き起こることがリビルト事業者の役割である。

株式会社アーネストは、自動車用リビルト部品が専攻業務領域に貢献できる企業となるべく1993年に創業し、今年で27年目を迎える。創業当初は高くも、社にも前例のない社会に対応する社会を通じた環境責任をうたっては、いち早く2002年にISO9001、2004年にISO14001の認証を取得し、規格に基づいて自動車用リビルト部品のBSI PAS 3100を、株式会社から提案して策定し、自動車用リビルト部品業界の発展を促進してきた。

株式会社アーネストの、自動車用リビルト部品のロゴマークは「RAP」(アンのファンダム)は、同社の基本的なスタンスである「高品質な自動車用リビルト部品」を「高く」を意味する「high quality Rebuilt Automotive Parts」の略称として採用している。

このように株式会社アーネストは、国内の自動車を中心とした幅広い車種に適用し、自動車用リビルト部品「RAP」の生産・販売を行っている。製品ラインナップを揃えて企業活動を展開している。

近年、リビルト事業者を取り巻く環境には、大きな変化が発生している。

解 1

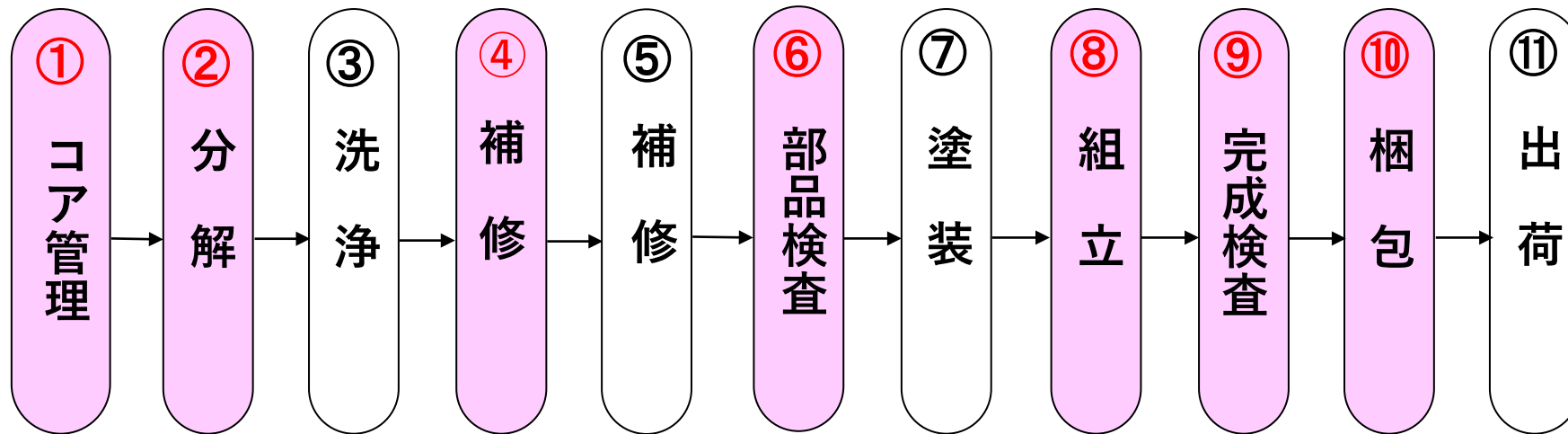
※各項目により範囲での記載、記載等は変更されております。

品目	リビルト内容	各作業ステップで必要なスキル(解)	各作業ステップで必要なスキル(解)
A: 内装部	燃費室内で燃料を燃やせせ動力を発生し出すエンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部	燃費室内で燃料を燃やせせ動力を発生し出すエンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部	燃費室内で燃料を燃やせせ動力を発生し出すエンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部
B: 外装部	エンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部	エンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部	エンジン・ディーゼルエンジン・その他の内装部
C: 燃料系	燃料系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	燃料系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	燃料系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
D: 冷却系	冷却系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	冷却系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	冷却系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
E: 潤滑系	潤滑系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	潤滑系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	潤滑系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
F: 駆動系	駆動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	駆動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	駆動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
G: 制動系	制動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	制動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	制動系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
H: 電気系	電気系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	電気系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	電気系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
I: 安全系	安全系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	安全系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	安全系部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)
J: その他	その他部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	その他部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)	その他部品のリビルトプロセスに必要なスキル(解)

9-4, 生産及び販売上の課題・問題点への対応

【リビルト部品の定義】

コアを，一度構成部品に分解した後，点検し，摩耗・劣化した構成部品を，修理した構成部品又は未使用の構成部品と交換して再度組み立てて，性能確認をした部品であって，4.1に規定する必要な作業ステージを適用してリビルトした自動車部品(JSA-S1005)



【各ステージの共通事項】

- ①作業上の要求事項
- ②安全対策上の要求事項
- ③環境保護上の要求事項
- ④作業手順書の配置

<リビルトプロセスフロー>

リビルト部品は，図に示す少なくとも作業ステージ①，②，④，⑥，⑧，⑨及び⑩を含めてリビルトしなければならない。

9-5, 生産及び販売上の課題・問題点への対応

JSA-S1005 自動車部品リビルト規格化プロセス

生産 8 ステージ、全体 11 ステージのプロセス規格

コア管理

工程管理表

作業手順書

ワ
レン
クポ
チヤ
ント

スキル管理表

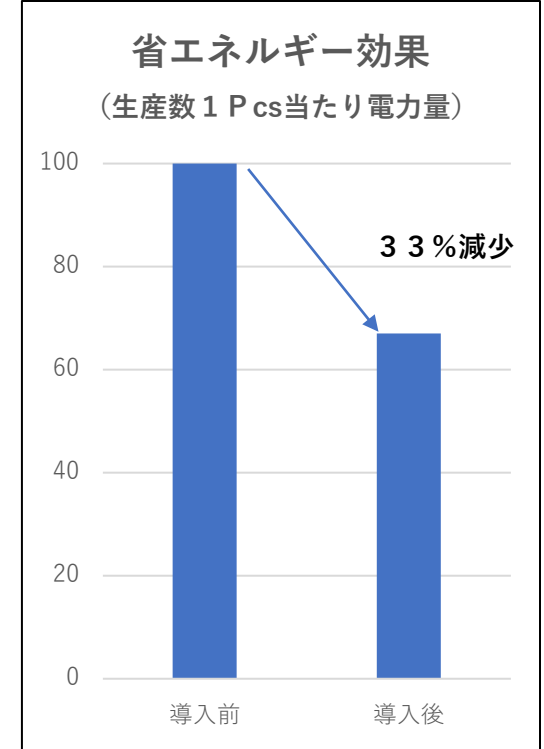
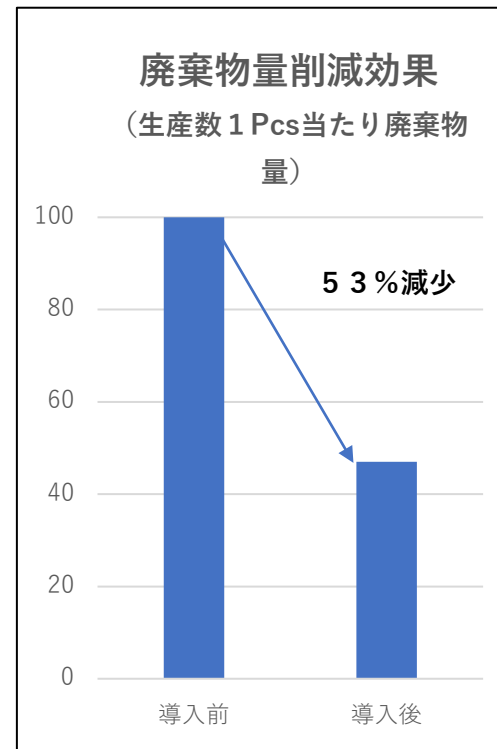
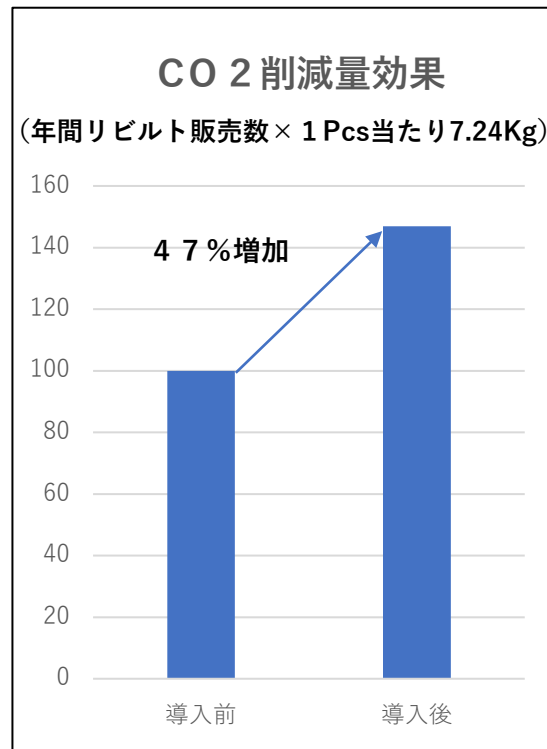
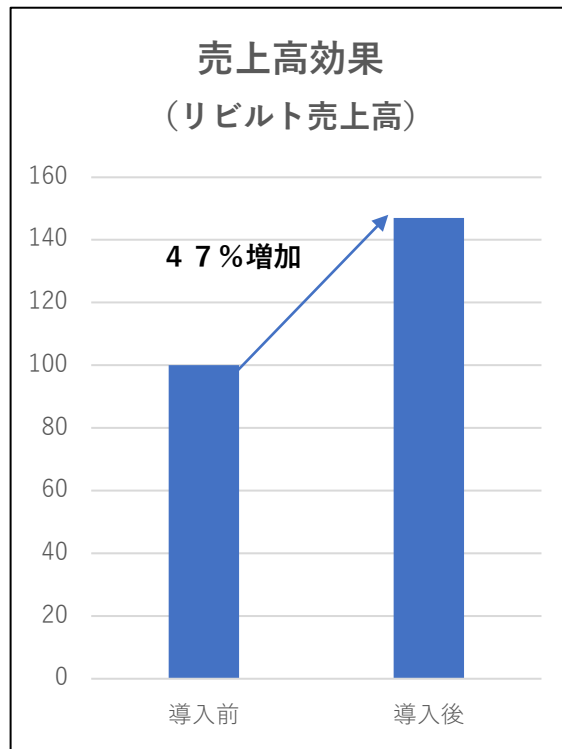
梱包・出荷

法令、安全、電気、機械、潤滑、油空圧、電子



10, JSA-S1005定着効果

JSA-S1005の定着前(2010年)を基準 (100) とした時の定着時点(2019年)との効果比較



リビルト部品1 Pcs当たりの平均Co2量は、品目数量にばらつきはあるものの、当社の品目の平均値としました。
(資料：グリーンポイントクラブ/早稲田大学)

11, JSA-S1005:2020 規格開発委員

JSA規格の開発・制定に当たり、完成に情熱を注いで頂いた元会長の永塚政義様、委員長を務めて頂いた熊本大学外川教授を始め18名の委員の皆様および日本規格協会の皆様に感謝申し上げます。

氏名	所属	氏名	所属
(委員長) 外川健一	熊本大学大学院人文社会科学部教授・環境安全センター長	(委員) 深澤広司	リビルド工業会全国連合会 会長
(委員) 青木乙彦	一般社団法人日本自動車部品協会 理事長	松本光崇	国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究グループ長
浅妻 裕	北海学園大学経済学部 教授	村井清二	株式会社名神キャブレータ技研 代表取締役社長
阿部 新	山口大学国際総合科学部 准教授	横田昌幸	株式会社日立オートパーツ&サービス企画部 部長
小野田弘士	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 教授	永塚政義	株式会社アーネスト 取締役会長 (規格提案企業)
鏡味大介	日産自動車株式会社グローバルアフターセールスエンジニアリング部 主担	大川恵司	株式会社アーネスト 代表取締役社長 (規格提案企業)
栗原裕之	一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会 代表理事	(関係者) 蛭間 功	一般財団法人日本規格協会 標準化規格調査課長
清水正行	株式会社日立オートパーツ&サービス営業・サービス本部取締役・本部長	渡辺義治	一般財団法人日本規格協会 高度エキスパート(TPM)
平岩幸弘	桜美林大学LA学群 非常勤講師	宮崎正治	一般財団法人日本規格協会 上席専門職
千葉孝貴	ATサービス東北有限会社丸福自動車 代表取締役会長	(事務局) 望月康政	株式会社アーネスト 新規規格室室長(PL)
友田進吾	日産自動車株式会社グローバルアフターセールスエンジニアリング部 チームリーダー		
新戸部 八州男	全日本自動車部品卸商協同組合 理事長		

TPM：テクニカルプログラムマネージャ、PL：プロジェクトリーダー

(提案企業・関係者以外五十音順、敬称略、所属・役職は規格発行時点)

12, まとめ

JSA-S1005規格には、基準値や規格値などは入れてありません。リビルト事業者、自らが保証期間を満足できる基準値や規格値を設定することを求めました。

この規格を多くのリビルト事業者や関係者、消費者の皆様にご覧いただき、このプロセスで生産されたリビルト部品と偽物を区別できるようにすることが品質を高め、リビルト業界の発展に寄与できると信じています。

この規格のリビルトプロセスを通じて、使用済みの自動車部品の残った価値を最大限に活かし、優れた性能や耐久性を持つリビルト部品が多くの皆様に愛され使い続けて頂けることを願っています。

2021年10月15日
株式会社アーネスト